

コースコード：DO-DOFD

税込価格：110,000円 (税抜価格：100,000円)

日数：2日間

前提条件

IT用語に精通していること、IT関連の職務経験があることが望ましい。

受講対象者

DevOps Foundationコースの対象者は、以下のようなマネジメント、オペレーション、開発者、QAやテストの専門家です。

- ・IT開発、IT運用、ITサービスマネジメントに携わる方
- ・DevOpsの原則の理解を必要とする人
- ・アジャイル・サービス・デザイン環境で働く、またはこれから働こうとしているITプロフェッショナル

コース概要

組織はそれぞれの市場で新規参入者に直面しているため、競争力を維持し、年に1、2回ではなく定期的に新製品や更新製品をリリースする必要があります。DevOps Foundationコースでは、DevOpsの主要な用語を基本的に理解することで、全員が同じ言葉で会話できるようにし、組織の成功をサポートするためのDevOpsのメリットを説明します。

このコースには、ING Bank、Ticketmaster、Capital One、Alaska Air、Target、Fannie Mae、Societe Generale、Disneyなど、業績の高い組織で行われているケーススタディを含む、DevOpsコミュニティの最新の考え方、原則、プラクティスが含まれており、マルチメディアやインタラクティブな演習を活用することで、Gene KimによるPhoenix Projectで説明されている「3つの道」や、「State of DevOps」や「DevOps Institute Upskilling」の最新レポートなど、学習体験を実践に活かすことができます。

これは、ソフトウェア開発者とIT運用の専門家間のワークフローを改善するために、コミュニケーション、コラボレーション、統合、および自動化を重視する文化的・専門的な動きです。

本コースは幅広い層を対象としており、ビジネスサイドの方はマイクロサービスやコンテナについて理解することができます。技術者側は、デジタル・トランスフォーメーション・イニシアチブを支援するために、コスト削減(全体的なITコストを15~25%削減)、品質向上(変更失敗率を50~70%削減)、アジリティ(プロビジョニングとデプロイメントの時間を最大90%削減)を実現し、ビジネス目標をサポートするDevOpsのビジネス価値について理解することができます。

ユニークでエキサイティングなエクササイズは、コースで取り上げられたコンセプトを適用するために使用され、クラスの後に使用するためのサンプルドキュメント、テンプレート、ツール、およびテクニックが提供されます。

このコースは、DevOps Foundation認定試験の合格を目指す学習者を対象としています。

目的

DevOps Foundationの学習目標には、以下の理解が含まれています。

DevOpsの目的と用語

ビジネスとITへのメリット

継続的インテグレーション、継続的デリバリー、テスト、セキュリティ、「3つの道」などの原則と実践

DevOpsとアジャイル、リーン、ITSMとの関係
ワークフロー、コミュニケーション、フィードバックループの改善
デプロイメントパイプラインやDevOpsツールチェーンを含む自動化の実践
エンタープライズ向けにDevOpsを拡張する
重要成功要因と重要業績評価指標
事例(ケースストーリー)

アウトライン

1. DevOpsの探求

- DevOpsの定義
- なぜDevOpsが重要なのか
- ビジネスの視点から
- ITの視点から

2. DevOpsのコアとなる原則

- 3つの道
- 制約条件の理論
- カオスエンジニアリング
- 学習する組織

3. 主なDevOps プラクティス

- 継続的テスト
- 継続的インテグレーション、継続的デリバリー、継続的デプロイメント
- サイト・リライアビリティ・エンジニアリング、レジリエンス・エンジニアリング
- DevSecOps
- ChatOps
- カンバン

4. ビジネス&テクノロジー・フレームワーク

- アジャイル
- ITSM
- リーン
- 安全文化
- 学習する組織
- 継続的な資金調達

5. カルチャー、ビヘイビア、オペレーティング・モデル

- 文化の定義
- 文化的負債
- 行動モデル
- 組織モデル

6. DevOpsツールチェーンの自動化と設計

- CI/CD
- コードとしてのインフラストラクチャ
- クラウド
- コンテナ&マイクロサービス
- 機械学習
- DevOpsツールチェーン

7. 計測、測定、報告

- 計測の重要性
- DevOpsメトリクス
 - ・ スピード/スループット/テンポ
 - ・ 品質
 - ・ 安定性
 - ・ 文化



- リードタイム/サイクルタイムの変更
- バリュー・ドリブなメトリクス

8. 共有、シャドウイング、進化

- DevOps Days
- 企業におけるDevOps
- 役割
- DevOpsリーダーシップ
- 組織的考察
- 作業の開始
- 課題、リスク、重要な成功要因

DevOps Institute認定資格試験の受験について

受講者様のご希望の日時(各自で設定可能 受験バウチャーの有効期間内
後日、職場や自宅などから各自でご受験いただけます)

受験申込方法およびバウチャー有効期限につきましては、受講者ポータルでお知らせいたします。

DOIの試験は、PeopleCert社によって実施されます。

サンプルペーパーと試験は、Foundation v3.10に基づいています。